

その「物語」の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.124

a taste of Ya'ssy

田中 康夫



たなかやすお ● '56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選。1期務める。「文藝」(河出書房新社)2013年冬季号から17年ぶりに小説の連載を開始。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>



国境を接する地勢と歴史が醸した “平和”の混醸ワイン

今週の逸品



ヴィーノ・デッラ・パーチェ 2008-2009-2010-2011

オーストリア、スロベニアと国境を接する州よりも大きな自治権を有する。コモンズと同じ語源のコルモンズは国境まで12km。人口8000人のコムーネ。發着濃烈なミッシュラン・イタリア版で一つ星の料理店も。コルモンズHPは英語サイトも完備。

Cantina Produttori Comrons Via Vino Della Pace 31 Comrons Gorzja Friuli-Venezia Giulia <http://www.comrons.com/>
ヴィーノ・デッラ・パーチェで検索。大阪市生野区のニシノ酒店をはじめ購入可能。

illustration by Hajime Anzai



「ヴィーノ・デッラ・パーチェ」は、不思議なイタリアの白ワインです。平和のワインという大仰な呼称もさることながら、驚く勿れ、800を優に超える葡萄品種を混醸した、その芳しき黄金色の液体が750mlのボトルの中に封入されているのですから。有り得ない、と誰しも疑念を抱くでしょう。僕も当初は半信半疑でした。が、醸造元のカンティーナ・プロデュートリ・コルモンズのサイトには、葡萄品種の一覧が掲載されています。而も年毎に増え

続けているのです。2010年のヴィンテージは848種類でした。先頃、販売が開始された2011年産は855種類。日本固有の葡萄品種「甲州」も新たに加わりました。イタリア北東部のフリウリヴェネチア・ジュリア州で栽培から瓶詰めに至るまでの全工程をコルモンズ醸造組合が担っています。読んで字の如し「パーチェ」平和」を祈念するワインを誕生させるべく世界各地の栽培家や醸造家が葡萄の苗木を寄付し、600種

種類の混醸でお目見えたのは1985年でした。切れ味と押し出しを程良く感じさせる芳醇な体軀。一言で述べれば、樽熟の効いたシャルドネ種ブルゴーニュの銘醸物を想起させます。オレンジ、パイナップル、パッションフルーツ、カリン、ハーブ、ナッツ、ハチミツ等々の香りや味わいが複雑に絡み合った逸品と評する好事家も居ます。価額自体は三千円台と適価なるも出荷本数は限られ、その趣旨に賛同した芸術家が毎年3名、ラベ

ルのデザインを手掛ける付加価値とも相俟って、密かに人気を集めています。1998年にはオノ・ヨーコ女士が担当しました。が、何故に斯くなる混醸ワインが生み出されたのでしょうか？それはオーストリア、スロベニアと国境を接する地勢が醸した歴史と無縁ではありません。イタリア語以外にドイツ語、スロベニア語も通用する、トリエステが州都のフリウリヴェネチア・ジュリア州は嘗て、ユリウス・カエサルが古代ローマの属州として統治しました。未だに混同する向きも居ますが、ヴェネチアは西隣のヴェネト州に属します。そのヴェネト一帯は19世紀半ばイタリア王国の領土となるも、ヴェネチア・ジュリアはオーストリア・ハンガリー帝国に留まり、熾烈な戦闘の末に第一次世界大戦後、イタリアに編入されます。第二次世界大戦ではユーゴスラビアのバルチザンが多くの地域を占領。トリエステ周辺は国際連合の管轄下に置かれ、最終的に領土問題が解決するのは1975年です。ローマ法王やチャールズ皇太子、クリントン、シラク、レーガンといった歴代大統領にも献上された平和のワインは、日本でも購入可能。ここ数年、僕はダース単位で購入し、安寧を願う記念日に友人と抜検しています。この新年も「パーチェ」と共に迎えました。